



夢・いっぱい

第2号

令和2年4月30日

○ 2020年度の経営方針：今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい学校づくり
～ 開かれた学校において、「愛宕の子」として地域と共に育てる ～

「愛宕の子」は心豊かな子

～ 相手を思いやる心をもつ子どもは、相手の視線に立てる子ども ～

校長 原 田 剛

4月9日、新しい1年生が入学してきました。

あどけない表情の中に、入学する喜びや新しい環境への期待が見て取れます。

また、新年度という新しいスタートは、人の気持ちを一新してくれます。

中でも6年生は、入学式に向け、そのやる気を見せてくれました。残念ながら、今年度の入学式には全員の参加は叶いませんでしたが、準備の場面でその力を発揮してくれたのは、心強い限りです。

受付から教室へ1年生を誘導している6年生の姿に感心したのは、ちゃんと1年生の背の高さに合わせ、視線を下げて話をしていることです。

私たち大人は、小さな子どもに大切な話をするとき、しゃがんで話をすることが多いですね。面と向き合うことで自身の懸命さを伝えたいという気持ちもありますが、自分の立場を下げて、互いの気持ちを分かり合いたいという心の表れでもあるでしょう。



上靴をはく1年生を待つ6年生

6年生が自然とそのような姿勢をとっていることに、相手を思いやる心が育っている姿を感じることができました。また、今年度の経営方針にある、上級生から下級生への「愛宕の子」のつながりを感じることもできました。

新型コロナウイルスの感染防止には、まだまだ予断を許さない状況にありますが、「愛宕の子」のよさや成長を見届けることが、私たち大人の責務です。

☆ 令和2年度の本校教育の推進に向けて

《県・市から》

- 山口県教育振興基本計画教育目標

未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成

- 岩国市教育基本計画基本目標

志高く 豊かな心と生き抜く力を育む



《学校経営方針》

今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい学校づくり

～ 開かれた学校において、「愛宕の子」として地域と共に育てる ～



《学校教育目標》

確かな学力と豊かな人間性を身につけ、力強く生き抜くことができる

心身ともにたくましい愛宕の子どもを育てる

【 めざす児童像 】

- | | | |
|----------------------|------------|-----|
| ○ 意欲的に学習し、伸びようとする子 | ：学習 | 〈知〉 |
| ○ 誠実で、思いやりのある子 | ：あいさつ・言葉遣い | 〈徳〉 |
| ○ 力いっぱい活動し、最後までやりぬく子 | ：掃除・後始末 | 〈徳〉 |
| ○ 健康や安全に気をつける子 | ：ルール・マナー | 〈体〉 |